

「ゆるり短歌会」第十一回 平成二十九年二月十日（金）

一 妄想し自分勝手にキャスティング読書にはまり泣き笑う日々 坂口まゆみ

二 初詣動かぬ右手を左でささえ顔穏やかに何を願ひぬ

三 トランプのジョーカーこの世に踊り出て思いのままに操りゆくか 興梶恵子

四 「恐ろし」とききたる人に助けらる我家の車の警笛鳴りだし

五 若きころ姑ははに言はれし数々の老ならはしいたる今も心に残れり 戸部恵美子

六 やはらかき光に開きぬ梅のはな古木苔木に変わりても生き

七 被災地の茶葉に残りし苦みにはこわさ苦しさいっぱいつまってる 立川志乃

八 引力の法則に勝つ方法があつたら教えて鏡よカガミ

九 裏庭の寒気に向かひ咲く梅の花の白きを愛でし十代 堀越照代

十 裏庭に寒気に抱かれ咲く梅の花のほひに包まれゆけり